OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	語文　第75・76輯　編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2001, 75-76
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68984
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編集後記

前田富祺教授の御退官を記念して「国語学特輯」号をお届けします。

先生の常にビビッドな温故知新を象徴するように、御退官は、二十世紀の最終年度にして、二十一世紀最初の三月という、画期になりました。併せて本誌『語文』も、本輯より、新世紀に足を踏み出すことになります。

明治の学制の中で「国語学」は、「博言学」という名前の下に、その近代的講座をスタートさせたと聞いています。そこには、今日の先鋭的専門性とはパラダイムを異にする、突き抜けるような希望と骨格の大きな学問の香りがあったのでしょう。しかし、遠く眺める圏外の私にも、前田先生の学問には、いつもその「博言学」の拡がりと香気を感じ取ることができました。本輯掲載の圧倒的な業績目録からも窺えるように、「もの」と「こと」と、その具象と抽象をしなやかに包括する先生の学問は、他ジャンルに対しても、刺激的で示唆的です。

本輯には、先生の薫陶を受け、あるいは謦咳に接し、また同僚として数々の場面でお教えを受け、そして語ることをゆるされた方々による、博く国語学のさまざまな研究分野に及ぶ論文を掲載することが出来ました。御論考をお寄せくださった方々に感謝いたします。そのいずれもが、さらに本誌『語文』が、新世紀のその先に向けて、国語学、日本文学研究に重要な一石を投じ続けるものであることを祈念してやみません。

（荒木　浩）

語文　第七十五・七十六輯

平成十三（二〇〇一）年二月二十五日　印刷
平成十三（二〇〇一）年二月二十八日　発行

編集・発行者　大阪大学国語国文学会
〒560-8532　大阪府豊中市待兼山町一―五
大阪大学大学院文学研究科
国語学国文学研究室
代表　伊井春樹
振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一
電話　〇六―六八五〇―五一一一

印刷　天理時報社